

151 『可憐な乙女』 京子

<良い点>

太陽光の射す方向にしっかり花の先端が向けられていて、生命感があふれる一枚ですね。背景も中心から周りに行くに従ってアンダーになっているため、よりメインが引き立っています。

<改善点>

メインの中に白トビしている部分がいくつかあって、その表情が分からなくなっているため、白トビしないように撮影してあげましょう。ピントの位置がやや奥すぎて手前のボケが強く視線が引っ張られてしまうので、ピントをもう少し手前の花びらにしたほうが良かったかなと思いました。

152 『ご機嫌麗しく』 京子

<良い点>

前ボケの配置が絶妙で明るさも良く、メインをしっかり引き立てられていますね。さらに前ボケの色味を花と同じにし、背景の色味を葉と同じにすることで写真の世界観の均衡が保たれているようでとても素敵です。

<改善点>

下の部分に見えてしまっている葉と右下の暗部が気になるのでそこは入れないようにしてあげましょう。またメインに対し右の空間が広すぎて構図がやや不安定なので、少しだけ右の空間を狭めてあげると良いと思います（ただしメインは中心ではなく気持ち中心よりやや左上が理想です）。

153 『クリームにとろけるイチゴちゃん』 京子

<良い点>

霞に包まれたような優しく美しい前ボケのおかげで、ともすれば印象が強すぎて視線が注がれすぎになってしまうメインの赤をうまく弱められているのがとても良いですね。背景の左の濃い部分や右の変化のある部分も良いアクセントになっていると思います。全体から良い世界観が表現できていると思います。

<改善点>

メインの右隣に写っている葉（特に下の方で枝のように出ている部分）が少し気になって視線が持っていかれてしまうので、入れないように撮影するか編集で消しても良いかなと思いました。

154 『PINK HEART』 京子

<良い点>

お花の咲いている方向にしっかり空間を持たせられていて、安定感のある構図ですね。葉の配置もバランス良く空間をうまく埋められていると思います。背景もところどころに色の変化があって良いアクセントになっていると思います。

<改善点>

全体的にソフトフォーカス過ぎると色味がマゼンタ被りしているせいか、写真がのっぺりしていて奥行きが感じられないのが残念ですね。もう少しメリハリを出してあげられると良かったかなと思います。あとは少しノイズも気になりますね。

155 『春のリトルマーメイド』 Aya

<良い点>

鮮やかで明るい黄緑と紫がとても印象的な一枚ですね。見ていて楽しい気分にさせてくれるような色合いが素敵だなと思いました。メインの花と葉のディテールもしっかり出せていてそれがとてもカワイく感じますし、背景に紫を溶け込ませているのも良いアクセントになっていますね。

<改善点>

とても雰囲気が良い撮影者の意図がしっかり感じられる良い作品なのですが、メインとともにこの写真の裏のメインとも言っている右のボカした花と葉の両方をお互いが引き立て役になるには、二つの距離が少し遠いような気がします。そのおかげで視線があっちこっち行ったり来たりしてしまうので、この距離がもう少し近くて、その二つを全体の背景が包むように配置できてればかなり良い作品に仕上がっていたのかなと思いました。

156 『タンポポ数え』 Aya

<良い点>

前ボケと後ボケをうまく活かしてメインの存在感をしっかりと出せていますね。色の配置もうまくそれぞれが良い引き立て役になっています。黄色と緑色の色の出し方も美しいです。

<改善点>

メインの花の黄色が色トビしてしまっていて、そのせいでお花の表情が伝わりにくいのが残念です。ここはしっかり色トビさせないように撮影してあげましょう。右端のボケが少しだけ強く感じますので、そこは入れない方が良かったかなと思いました。

157 『pure white』 Aya

<良い点>

とても美しい空の青が出せていて、もちろんメインの花の白もほぼ色トビなく（逆にこれくらいの色とびは太陽が感じられて良いです）撮影できているので、このシチュエーションを最大限に活かした撮り方ができていると思います。

<改善点>

メインの枝が暗すぎて視線が持っていかれがちになるので、その部分だけもう少し明るくしてあげると良いと思います。あとメインの枝の方向が垂直すぎて逆に自然らしさが若干損なわれている気がするので、少しだけで良いので写真全体を傾けてあげると良いかなと思いました。編集で画像回転するのもアリですよ。

158 『secret garden』 Aya

<良い点>

メイン以外をうまくボカせているので、しっかりメインの存在感が伝わりますね。背景の明るさや色味も優しく表現できているのでとても雰囲気が良いです。

<改善点>

メインの花びらが白トビしてしまっていて表情が伝わらないのが残念ですね。白トビしないように撮影してあげましょう。それからせっかく雫が付いているのですから、もう少し雫の存在感が分かるような角度で撮影したり、しっかり雫にピントが合っているように感じられることが大切かなと思います。

159 『pink magic』 Aya

<良い点>

メインのお花のシベの先端にピントを合わせられているので、お花の生命感がしっかり伝わってきます。背景をシンプルにして、左に空間をしっかり持たせたことも良い効果を生んでいますね。

<改善点>

全体的に色味がマゼンタ被りしていて、自然らしさが損なわれてしまっていますね。見た目と全く同じにする必要はないですが、そのものが持つ本来の美しい色を引き出せるよう色味で撮影してあげましょう。枝のラインが真横すぎて不安定さを感じるのももう少し角度をつけてあげたほうが良いと思います。

160 『ソメイヨシノ』 Aya

<良い点>

咲いている方向にしっかり空間を持たせられているので、構図に安定感がありますね。全体の露出も色トビしないギリギリの明るさで撮れているし、色味も気持ちマゼンタ被りしてますがこれくらいなら許容範囲かなと思います。ピントも手前のシベに合わせられていて良いですね。

<改善点>

お花の撮影角度が真横すぎるからか絞りを開けている割には奥行きが感じられません。もう少しだけ角度を付けて（今の位置より右から）撮影すれば良かったかなと思いました。メインの下の花もあともう少しだけ入れてあげるともっと良いアクセントになってくれたかなと思います。

161 『雨上がり』 Aya

<良い点>

それぞれの配置を分量がとても良く、全体のバランスがしっかり取れていてこのシチュエーションの雰囲気すごく伝わってきますね。落ち着いた明るさと色味もその一助になってますし、や前ボケと後ボケの花の見せ方のおかげで奥行きもすごく出せてます。

<改善点>

ピントが甘いわけではないのですが、パッと見どこにピントが合っているのかが分かりにくいいため視線が迷ってしまうのが残念です。最初にこの写真を見たときに真っ直ぐに視線が注がれるようにしてあげたいですね。そのためにはどこにピントを置くかがもちろん大切ですが、絞り具合も調節してどこまでをハッキリ見せれば良いのかを考えることも重要です。僕ならもう少しだけ絞ってピントを合わせた葉と花びらの先端付近のディテールをもっと出すようにしたかなと思います。

162 『桜美人』 Aya

<良い点>

シベにピントを合わせられてお花の表情がしっかり伝わってくるのが良いですね。露出も良く影がやさしいおかげで良い立体感も出ています。左にシンプルな空間が配置できていることも構図の安定に繋がっていますね。

<改善点>

しっかり寄り切ってマクロ撮影しているので、もう少しだけ絞ってメインのシベたちのディテールを出してあげた方が良かったかなと思いました。この部分のボケ味が少し強すぎて視線が持っていられるよ

うに感じます。右下の下を向いている花もメインの引き立て役にはなっていないので入れない方が良かったと思います。あとはメインをもう少しだけ左上を向けてあげるとより生命感が出てでしょう。

163 『出会えた幸せ』 Aya

<良い点>

明るすぎず暗すぎず、かつ光の当たり方がちゃんと分かるような露出が良いですね。全体の色味も自然で美しいです。

<改善点>

ちょっと撮り方が平面的すぎて写真の「奥深さ」が感じられないのが残念ですね。あえてシンプルに撮影されたのだと思いますが、もう少し撮影角度を工夫するなどしてメインを立体的に表現できれば良かったかなと思いました。

164 『松の葉の風』 組写真 TAKA

<良い点>

5枚とも角度の違う斜めのラインや曲線が写真の中にいくつも存在していたり、美しい球ボケが配置できていたり、変化がしっかり感じられ興味深い仕上がりになっていると思います。明部から暗部までの露出の変化も良い具合に伝わってきますね。

<改善点>

あえてどこにもピントの合わさない写真で表現をしたかったのだと思いますが、そうであるならピントが合ってしまった部分や、合っていないけどディテールが出過ぎている部分を入れないようにしてあげないと、組み写真でこの世界観を表現しきれないと思います。構図に関してもピントを合わせて撮る普通の写真よりももっと繊細にそれぞれを配置してあげないとバランスが保てないので、できるだけ大きい画面で少し引いて俯瞰的に作品を見て、構図をしっかり安定させてあげるのが重要だと思います。個別に講評が欲しい場合は連絡くださいませ。

165 『打ち寄せる波の音』 組写真 Rita

<良い点>

右、正面、左と撮影方向を変えて3枚の組写真にしたのは良いですね。それぞれの波の表情に変化が合って面白いです。白の露出も良いです。

<改善点>

3枚とも上からの撮影角度のせいで、奥行きが足りなく波のインパクトさも出ていないのが残念ですね。もっと視線を落として波のエネルギーをしっかり伝えられるような角度で撮影してあげましょう。

166 『Love Land』 みつえ

<良い点>

ピンク、緑、白とそれぞれの色味がしっかり感じられて印象の強い一枚ですね。右の背景も変化があって素敵です。

<改善点>

左の前ボケが強すぎてメインの存在感を邪魔してしまっているのと、ピントをどこに合わせたのか分か

りにくいせいで、どこを見てもらいたいのかが伝わりにくくなってしまうのが残念ですね。まず見てもらいたいところがしっかり分かるような撮り方ができるように工夫していきましょう。

167 『ほんのり、ぽ・ぽ・ぽ』 みつえ

<良い点>

全体を包む柔らかい背景のおかげでメインの存在感しっかり引き立ち、それでいて優しくさも感じます。良い雰囲気ですね。

<改善点>

ピントが甘いですね。手前のシベにしっかり合わせて生命感を強めてあげましょう。あとは写真全体が心持ちマゼンタ被りしていて不自然さを感じますので、少し弱めてあげましょう。

168 『花がすみ』 みさき

<良い点>

メインの咲いている方向にしっかり空間を作れていて構図が安定していますね。背景の露出も良く柔らかいディテールを残せているので奥深さを感じます。

<改善点>

メインのピントが甘いことと、前ボケが強いのでメインの存在感が弱いのが残念ですね。ピントをメインの手前のシベにしっかり合わせることで、撮影角度を工夫して前ボケを優しく表現するようにしましょう。

169 『バラ色の世界』 はるか

<良い点>

一番見てもらいたい部分を最も明るくできていてかつ色トビもほぼないので、視線が迷わずに注がれますね。背景に対するメインの位置や大きさもちょうど良く、安定感があります。

<改善点>

メインの色味を考えると、背景も全て同系色で埋め尽くしたかったですね。背景の緑の印象が強すぎて視線がそこに引っ張られてしまいます。難しいとは思いますがそうなるようなシチュエーションを探すために、しっかりとしたロケハンを行うことが大切です。

170 『暖かい日差し』 はるか

<良い点>

花の向きに対して空間が広く取れていて、構図に安定感がありますね。背景のピンク、白、緑も優しくて美しいです。

<改善点>

右上の左端の緑の暗部は視線が持っていかれすぎてしまうので入れないようにしましょう。メインのピントが甘いのと白トビしてしまっている部分があるので、それを改善すればもっとメインの存在感が出ると思います。

171 『万華鏡』 はるか

<良い点>

賑やかな背景に負けないくらいメインもしっかり撮影できているので、お互いが引き立てあってしっかりまとまっていると思います。

<改善点>

少し全体的に露出オーバーなせいで長く見ていると若干息苦しくなってきます。露出をもう少しだけ抑えましょう。色味もピンクが強すぎて本来の色味から遠すぎるかなと感じますので弱めてあげた方が良いと思います。背景の右下部だけが少し暗く、またボケ味がやや強いうるさく感じるので、そこを改善してあげるとよりバランスが取れると思います。

172 『春の訪れ』 はるか

<良い点>

ピントが手前のシベに来ていて、生命感がしっかり出ていて良いですね。他の花たちもそれぞれボケ味が違って変化があって良いですし、逆に背景をシンプルにしたのも良い結果につながっていると思います。

<改善点>

色味が気になりますね～。ちょっと本来の色とかけ離れすぎているような気がします。全く同じにする必要はないですが、本来の色味の良さを引き出せるような色味にコントロールしないと違和感が生まれてきてしまいます。枝の暗さも少し気になるのでもう少し明るくしてあげましょう。

173 『梅心』 はるか

<良い点>

ふんわりしつつ変化のある背景のおかげでメインの存在感がしっかり出せていますね。咲いている方向にしっかり空間が取れているのも構図的に安定していて良いと思います。

<改善点>

マゼンタが強すぎますね～。もっと自然をリスペクトした色味で表現してあげて欲しかったなと思いました。あとは花の向きが真横すぎ奥行きが足りないのと、同時に枝のディテールも出すぎていて視線がそこに持っていかれがちになってしまうので、撮影角度をもう少し工夫した方が良いと思いました。

174 『思いを添えて』 はるか

<良い点>

メインの枝が対角線に出せていて画角を広く使えていること、その枝に沿って背景の色の変化があることが、シンプルな写真に奥深さを与えられていると思います。枝もここまで写っているのが柔らかくて気になりません。

<改善点>

花びらが若干白トビしてしまっていて表情が分からなくなってしまっているなので、白トビさせないようにしましょう。右下の前ボケがやや強く、その部分とさらに左下の少しくすんで黒くなっているところも気になるので、写真の下部と左部を少しだけトリミングしてあげると良いかなと思いました。

175 『花束』 はるか

<良い点>

右上から花を咲かせて下に空間を持たせられているのが良いですね。花びらが付いていないのも美しく撮れていて良いアクセントになっています。

<改善点>

単調な背景のせいもあって左の空間が広すぎるのが気になります。いっそ縦構図で切り取って写真の右半分だけにしても良かったかなと思いました。右上に写ってしまっている枝も視線を持っていかれてしまうのでできるだけいれないように撮影するか、半分くらいまでなら右からトリミングしても良いでしょう。でも一番気になるのは色味ですね。ここまでピンクが強いと違和感があります。もう少し「自然らしさ」を大切にしましょう。

176 『何気ないプレゼント』 はるか

<良い点>

しっかり視線を落として撮影できているので、花たちの表情も出て写真に奥行きもありますね。明るめのふんわりした背景もとても良い雰囲気が出ています。

<改善点>

メインの花たちが色トビしてしまっていて表情が伝わりにくいので、色トビしない露出で撮影してあげましょう。あと色温度が少し高いのか全体的に暖色系が強すぎて不自然さを感じるなので、もう少し色温度を下げた方が良いかなと思いました。

177 『幸せの約束』 てるみ

<良い点>

ややアンダーな緑にすることで、自然らしい雰囲気をしっかり感じられますし、メインの白がしっかり引き立っていてとても良い露出だと思います。白の印象が強いので、これくらいごちゃごちゃしたやかましすぎるくらいの背景もとても合っていると思いました。なんてことない風景をしっかり撮りきってこの世界を表現するのが一番難しいと思いますが、そこにチャレンジしてなかなかうまくできているのがとても素晴らしいと思いました。目線をちゃんと落として奥行きもあるし、構図もバッチリです。

<改善点>

全体的にとっても良い露出で撮れているんですが、若干まだ白トビが気になります。しっかり白とびを抑えつつ、暗くなりすぎた部分は現像処理で持ち上げて明るくしてあげると良いでしょう。

178 『コスモスの海』 Sachi

<良い点>

パッと見はややアンダーな印象ですが、どこも色トビしてなくて落ち着いた露出で撮影できており、ずっと見ても飽きないし逆に奥深さを感じることができるので、素晴らしい露出で撮影できていると思います。うっすら写った茎がメインの生命感を出せていますし、メインの位置や背景とのバランスもとても良いです。

<改善点>

ピントの位置が少し奥になっていて、手前の黄色のシベのボケが強すぎるので、メインの花の印象がそこだけ強くなってしまっているのがもったいないですね。もう少しだけピントを手前にして黄色の前ボケ

は作らないか、作ってもほんの少しくらいにしてあげると良いでしょう。改善点としてはそれだけかなと思いましたが。

179 『可憐に、素朴に。』 Sachi

<良い点>

咲いている方向からすると構図のセオリーには反していますが、右にしっかり存在感のあるボカした同じ花を配置できているので、結果的に安定感のある構図に仕上がっていると思います。白の露出も色トビなく良い感じですね。

<改善点>

絞りを開けすぎているせいか、シベのボケ味が強すぎて視線が引っ張られてしまいます。しっかり寄って撮影されていると思いますが、その場合は同じ絞りでもボケ味が強くなりますので、被写体によっては少し絞ってあげた方が良いでしょう。

180 『流水線』 Sachi

<良い点>

背景のボケ味と配置が良いおかげでメインの良さがしっかり伝わる一枚に仕上がっていますね。全体をしっかり見れていてうまく空間を作れていると思います。

<改善点>

マゼンタが強いのか本来の紅葉の色合いから少しかけ離れてしまっているのが気になります。本来の色味を大切にしつつ季節感がしっかり出せるような色味を表現してみましょう。枝の右上のごちゃごちゃしている部分や左下のディテールが出すぎている背景が少し気になるので、上下を少しだけトリミングしても良いかなと思いましたが。

181 『雫』 Sachi

<良い点>

雫の中に世界を閉じ込めて、それ以外を抽象的な表現ができていますので、写真の意図がハッキリ伝わりますね。雫以外の部分を紫系統でシンプルにまとめられているのも良いです。

<改善点>

雫の中のディテールが分かりにくいですね。もう少し絞ってピントも雫の中にしっかり合わせてディテールを出してあげましょう。背景右の紫色の部分が単調すぎて広すぎるのももう少し狭めてあげると良いでしょう。

182 『ここに咲く』 春日

<良い点>

メインの色も背景の色も白で一見単調そうに見えますが、色トビをしっかり抑えいろんな白が表現できているので変化が感じられてとても良いと思います。花の咲いている方向を考えると構図のセオリーとは違いますがあえてど真ん中に持つことで主役の存在感がしっかり出ていてアリだと思いました。全体を白でまとめたのと、枝が垂直に伸びているのがこの構図を成り立たせているのかもしれないね。

<改善点>

枝のディテールと暗さが気になり主役の存在を少し邪魔しているのも、もう少し左から撮影してやや枝

を隠してあげ、枝の部分だけを少し明るくしてあげれば良かったかなと思いました。絞りももう少し絞って主役のディテールを今より出してあげた方がより生命感が強まったかなと思います。

183 『春のお目覚め』 春日

<良い点>

白の露出と色味が良いですね。シンプルに白の美しさを感じられます。構図も3分割で背景に変化もあるので安定感がありますね。

<改善点>

ピントがやや甘く主役の印象が弱いですね。シベの先端にしっかり合わせるようにしましょう。ノイズも気になりますので撮影時にISOを上げすぎない、解像度を上げる、編集でノイズ軽減するなどしてノイズを出さないようにしましょう。

184 『春の香り』 春日

<良い点>

被写体の姿に合わせて縦構図にしたのは良いですね。生命感が伝わってきます。この構図であればこれくらいたくさんの方にピントが合っている方が存在感も出て良いと思いました。

<改善点>

全体的に青被りしているのが気になりますね。色温度が低すぎるかもしれません。本来のやや温かみのある自然な色味にしてあげましょう。左上や真ん中上付近にある白トビした空間に視線を持っていかれがちになるので、できればボカした花たちで隠せるような撮影角度で撮ってあげれば良かったかなと思います。

185 『春色のコラボレーション』 春日

<良い点>

しっかり背景をボカしすぎて奥行きを感じますね。メインの白の背景に緑を持ってきているのでメインが引き立っています。

<改善点>

背景下のピンク色の部分の印象がメインより強く感じてしまい、どうしてもメインに視線が行きにくくなってしまっています。もう少し彩度の低いピンクにしてあげると良いでしょう。ちなみにメインの花の白はややマゼンタ被りしてしまっている気がするので、本来の美しい白で表現してあげるとより存在感も出ると思います。

186 『光の桜花』 春日

<良い点>

パステル調の背景が露出も良くとても優しい美しさが表現できていて素敵ですね。主役の花びらの露出も素晴らしくディテールもよくわかりしっかりと印象に残ります。

<改善点>

上に写り込んでいる黄色のシベを入れるなら、もっと入れてここにピントを持ってきた方が花としての生命感がしっかり出ると思います。ただシベよりも花びらの美しさを感じてもらいたいなら、今回のように花びらにピントを合わせるだけでなく、シベはいっそ入れなくても良かったかなと思いました。

187 『Piccolo primavera 小さな春の組みフォト』 組写真 Miracle

<良い点>

一枚一枚がそれぞれたくさんの色を使っているのに似ていないのが良いですね。組写真として出す意味を感じます。3～6枚目の撮影距離がどれもほぼ同じ感じなのにシチュエーションがそれぞれちゃんと違って変化を感じられるのも良いですね。

<改善点>

1 & 2枚目にどこにもピントの合っていない写真を入れたのは失敗ですね。組写真としての統一感がなくなってしまいました。3～6枚目の完成度はまずまず高いのでその4枚だけで構成すれば良かったかなと思いました。個別講評が必要であればまた個人的に連絡くださいませ。

188 『凜として』 照子

<良い点>

全体的にソフトフォーカスがかかっていますが、メインのディテールをしっかり出せているので、ソフトフォーカスの効果がうまく使えていると思います。右上の白トビした背景も主役の濃い色味を考えると引き立て役としては十分アリだと思います。

<改善点>

お花の咲いている向きが真横すぎて構図に不安定さを感じます。画像を回転させてやや右上を向けてあげると良いかなと思います。左下の黒っぽい部分がこの写真の中で浮いてしまっていて邪魔な存在なので入れないように工夫してみてください。

189 『梅爛漫』 照子

<良い点>

背景のディテールを感じさせることで奥行きのある風景がしっかり感じられますね。右下がりの斜めのラインが引けているのも素晴らしいです。

<改善点>

メインの花たちの向きがあまり良くなく表情が分かりにくいですね。しっかりこっちを向いてくれる花を見つけ、そこにピントをしっかり合わせて存在感を出してあげましょう。また手前の枝のディテールが出過ぎてしまっているため、思い切りそこに視線が持っていかれてしまいます。

背景の左側も少しごちゃごちゃしているので、この写真の左4分の1は不要かなと思いました。

190 『きらめく』 照子

<良い点>

キラキラが印象的で良い雰囲気が伝わる一枚ですね。右下から右上にかけて適度なボケも出ているため奥行きも感じます。

<改善点>

左の木の量が広すぎて視線が持っていかれてしまいます。左下の土が見えている部分も主役であるキラキラを邪魔してしまっている気がします。また上部の暗い部分も不要かなと思いますので、上と左と下を少しトリミングしてあげれば、良い背景がしっかり見てもらいたい部分の引き立て役になってくれるでしょう。

191 『春の訪れ』 Sachi

<良い点>

被写体の姿を考えて縦構図にしたのは良いですね。生命感がしっかり伝わってきました。露出もほぼ色トビなくうまく撮れていると思います。

<改善点>

色味が若干青かぶりしているのが気になります。色温度が低いのでしょうか？本来の色味と少し違うように感じますので、本来の色味に近づけてあげましょう。背景のダイナミックさに対してメインの量が少なく存在が弱く感じますので、もう少しメインの入れる量を増やしてあげて背景と釣り合うようにしてあげると良いかなと思いました。

192 『燃える赤』 Sachi

<良い点>

右上から左下に垂れ下がっている枝を使い、対角線上に葉を配置して、構図がとても安定していると思いました。背景の所々に見えている葉の影のディテールや白い光の玉ボケも柔らかくてとても素敵ですね。

<改善点>

右上の葉が表向いていて欠けている部分に視線が奪われがちになってしまいますね。また逆に中心付近の葉が裏向いていて生命感が弱く感じてしまうのが勿体無いなと思いました。あとは葉の背景部が同じ色になっているのでどうしても背景に溶けてしまいその分存在感が弱くなっているかなと感じました。半分くらいで良いので葉の背景部に光の玉ボケが入ってくると良くなるのではないのでしょうか？

193 『始まり』 愛子

<良い点>

しっかりディテールを感じる4つの花の向きが良いので力強い生命感が伝わってきますね。背景の分量もちょうど良く、主役をうまく引き立てられていると思います。露出も気持ち色トビくらいがこの被写体には合っていますね。

<改善点>

色温度が低いせいか全体的に青被りしていて少し違和感がありますね。本来の色合いをしっかり出せるようにしてあげましょう。絞りをもう少しだけ絞ってシベのピントが合っている数を増やしてあげることにより存在感が出せたかなと思いました。開放から3段ずつくらい絞って4～5パターンくらい撮っておき、後で見比べてみるのもオススメです。

194 『春るんるん♪』 愛子

<良い点>

蝶の羽の黒やブルー、お花の紫、葉の緑と、どれも気持ち色トビしているところもありますが許容範囲で、むしろこれくらい明るい方が全体的にまとまっていて良いと思いました。美しい色合いが出せていると思います。

<改善点>

やはり一番の主役である蝶の眼に全くピントが来ていないのが残念ですね。これに尽きると思います。お花ならまだしも動物の眼にピントがしっかり来ていないと写真としてはほぼ成立しませんので、構図や露出を考えるよりもまずピントをもっと意識して撮影するようにしましょう。

195 『なあに?』 愛子

<良い点>

美しい蝶の羽で写真の約4分の1を占め、それ以外を前ボケや後ボケを使って変化を入れつつ蝶のいる環境をしっかり背景として埋める。とてもうまくまとまっている一枚だと思います。

<改善点>

蝶の眼にピントを合わせたつもりだとは思いますが、残念ながらまだピントが甘いですね。手持ち撮影でピントを合わせたい部分がとても小さい時はどうしてもズレたりすることが良くあるので、できるだけ高速連写で一度に何枚もシャッターを切っておき、後でガチピンしているのを選ぶのがベストかなと思います。絞りももう少し絞った方が被写界深度が深くなるのでピントも合いやすいですよ(ここまで寄れればボケ味は少し絞っても十分出せますので)。

196 『Color』 愛子

<良い点>

蝶の色とお花の色が全く違っていて、お互いの存在が強く感じられる一枚ですね。お花の前ボケと後ボケもとても活きていると思います。

<改善点>

やはりピントが甘いですね。もしかするとシャッタースピードが遅いせいでブレもあるのかもしれませんが。できれば1/400以上のシャッタースピードで(もっと早くてもいいくらいです)、高速連写でガチピンできるまでしっかり撮りきりましょう。構図も蝶の位置を今よりも少し右に持ってくるともっと安定すると思います。

197 『賑わいの中の静けさ』 愛子

<良い点>

背景の白とピンクが優しく、そのピンク部にメインが配置できているのが良いですね。しっかり引き立っていると思いました。

<改善点>

メインの花びらがかなり白トビしてしまっていて表情がわからないですね。白トビさせないように撮ってあげましょう。下の空間が狭すぎて窮屈なのと、枝の上部のディテールは見えすぎていて視線を奪われがちになってしまっているので、メインをもう少し上に配置してあげると良いでしょう。

198 『金屏風の前で』 優美

<良い点>

左上から右下への斜めラインが引けている点が良いですね。構図に安定感を感じます。露出もやや白トビ気味ですがギリギリアリかなという感じです。

<改善点>

ピンクがかった主役に背景の黄色はあまりマッチしているようには感じません。主役の色を引き立てるには何色の背景にするのがベストなのかをしっかりと考えてみてはどうでしょうか?その主役についてもピントがどこにあるのか分かりにくいので、こういう場合はできるだけこっちを向いてくれているお花のシベにしっかり合わせてあげるのが基本だと思います。

199 『春、すべては光』 優美

<良い点>

主役を小さめに撮って周りの変化に富んだ環境をしっかりと写し込むことで、この写真の世界観がすごく伝わって来ました。やや色トビしている露出も良いし、左の前ボケ右に広く取られた奥行きのある背景も素敵ですね。

<改善点>

小さいとはいえ主役の眼のピントが甘いのが分かってしまうのが残念です。眼にしっかりピントを合わせて小さいながらも力強い生命感を伝えることでこの写真が生きてきます。背景では下部に写っているピントの合ってしまった茶色の枝が存在感が強すぎて不要かなと思いますので、これを入れないように撮影すればよかったと思います

200 『雨と共に』 あさひ

<良い点>

やや青かぶり（またはマゼンタかぶり）していますが、これくらいなら許容範囲で明るめの緑が入っているので逆に全体としては良い色味になっているかと思います。ほぼ色トビしていない露出も悪くないですね。

<改善点>

撮影角度なのか花びらが一枚欠けているのか、この角度でシベの根本まで写り込んでしまっているのが気になりますね。また花びらの先に雫らしきものの存在も感じるのに、それが伝わりにくいので、それがしっかり伝わるような角度で撮影してあげると良かったかなと思いました。